



第3回は、小学校は国語科、算数科、道徳科について、中学校は、各教科、道徳科の授業づくりについて学びました。第2回のVOD研修の内容を基に、各教科の特質に応じて授業づくりを考えました。

## 校種共通

### 【算数科授業づくり】



#### 〇研修に向けて

- 算数科において、児童が考えを整理するための手立てを学びたいです。
- 集団で考えるとき、グループやペア、全体で交流するときに、どのような手立てができるのか、交流の仕方、進め方にはどのようなものがあるのか等、みんな意見を出し合って、引き出しを増やしたいです。
- 算数の授業での効果的な声掛けや見やすい板書について学びたいです。また、自分が担当する学年以外の学習内容を知ることで、今担当している学年の学習にも繋がりたいです。

#### 〇研修の振り返り

- より多くの児童の言葉で説明させることや、友達の見解と似ているところと違うところを探させることで、考えながら聞かせることを意識した授業に取り組みたいです。また、式の数字が図形のどの部分にあたるのか着目させるためにも、児童に説明させる際には、図や式を指し示しながら説明させることを今後も続けていきたいです。
- 面積を求める方法を考えるときに、式のみを示すのか、それとも図のみを示すのかということでも目的や意味を考えて行う必要性を理解できました。また長方形の縦や横を強調したいときに、説明を意図的に止め、重要であると強調させることも手立てとして大切だと理解することができました。今後は個人思考と集団思考のバランスを考えて授業に臨みたいです。
- 私はいつも発表者だけを見て、発表を聞いていることが多かったのですが、今後は聞いている子ども達の反応も注意して見たいと思います。聞いている側が考えられるように、児童への声掛けも意識していきたいです。

## 小学校

### 〔国語科授業づくり〕



#### ○研修に向けて

- 物語を指導していくポイントを知りたいです。
- 板書の作り方を学びたいです。特に物語文は、書くことを整理しておかないと板書がまとまらなくなってしまうので、児童に分かりやすい板書の方法を知りたいです。

#### ○研修の振り返り

- 今回は叙述から読み取る力を付けるため、ごんぎつね第二場面の板書計画を練りました。その中で、どの叙述からどのような心情が読み取れるのか、また、心情曲線の工夫等を学ぶことができ、生かしていきたいと感じました。また、イラストの活用に関して、細やかな心情を読み取る必要がある教材では、あえてイラストに表情をつけていないということを知り、感心しました。板書の見やすさを注視しすぎ、本質を見落とさないようにすべきなのだと考えました。また、情景等をどこまで拾うのか迷う箇所がありました。書き過ぎても情報量が増え混乱してしまう恐れがあるという意見も出たことから、実際に自分が物語文の授業を行う際に、どこまでピックアップしていくのか、検討していく必要があると感じました。
- 根拠となる叙述から読み取れる登場人物の心情を小見出しにして、板書にまとめるとすっきりとした板書に落ち着き、児童もわかりやすくなりました。心情曲線を使うと、場面をつなげた気持ちの変化が読み取りやすくなることが分かりました。

### 〔道徳科授業づくり〕



#### ○研修に向けて

- 道徳の授業で実践できるような指導のポイントを知りたいです。
- 道徳の授業に対しては苦手意識があり、悩むことが多いです。子ども達から出た意見を大切にしながらどう進めていけばいいか学びたいです。

#### ○研修の振り返り

- 道徳の模擬授業を通して、子どもの発言を受容することや、中心発問の場面で問い返しをすることが児童同士を繋げ、考えを深めていくことに繋がるということを学びました。一回の道徳の授業で児童の行動を変えようとする必要はなく、正しい行動をしようとする児童が一人でも増えてくれたら良いという気持ちで道徳の授業を行ってみようと思いました。
- 道徳の授業で、子どもの発言に対して質の高い問い返しをしていくことで子ども達の考えが深まっていくことが分かりました。中心発問から子ども達の様々な意見を交流して深める過程が、子ども達にとって学びになるように、中心発問に向かうまでに内容を深めておくことや、子どもの意見を拾ったり問い返したりして、一問一答で終わる授業にならないようにしたいです。

## 中学校

### 【国語科】

#### ○研修に向けて

- ・学習指導要領に基づいた授業づくりについて学んできたので、実際にどのような発問をしていくかといった具体的なことを学んでいきたいです。日頃からめざす子どもの姿を想定しながら進めていますが、教材研究や評価規準について学びたいと思います。

#### ○研修の振り返り

- ・生徒の反応を複数考えることで、評価の規準や到達してほしいレベルが明確になることが分かりました。自分が想定しているより、もっと読み込まなければ面白い授業はできないと気が引き締め、理想とする授業像が少し見えた気がしました。

### 【社会科】

#### ○研修に向けて

- ・めざす子どもの姿から授業での学習内容や活動内容を考える中で、子ども達が楽しみながら真剣に考えられるような方法について考えたいです。自分で思い浮かべることが難しいため、他の先生方の意見などを聞く中で、自分が指導する生徒たちに合う方法を考えられるように取り組みたいです。

#### ○研修の振り返り

- ・ねらいと指導と評価は、「問い」と「めざす子どもの姿」をしっかりと考えれば、自然と一体化することが分かりました。普段ここまで深く教材研究をすることがなかったため、今回じっくりと考えることができたので、授業づくりをする上で、どのようなことを意識すれば良いか分かりました。

### 【数学科】

#### ○研修に向けて

- ・めざす子どもの姿は考えることができましたが、その姿にもっていくためにどういった手立てが必要になってくるのかを学びたいです。

#### ○研修の振り返り

- ・めざす子どもの姿から授業の学習内容や活動内容を考える中で、子ども達が楽しみながら真剣に考えられるような方法について、自分ではあまり思い浮かべることができませんでしたが、他の先生方の意見などを聞く中で自分の指導する生徒達に合う方法を考えることができるようになりました。

## 【理科】

### ○研修に向けて

- どのような事に目を向けて理科の授業を展開させるかについて他の先生方と話し合っていて考えたいです。

### ○研修の振り返り

- 自らが課題として挙げていた点を、他の先生も同様に課題と考えていたため、それについて互いに話し合うことで解決方法が分かり、授業での対策を想定できるようになりました。他の先生の授業方法を聞き、それらのメリット・デメリットを一緒に考えることで、授業内容によって授業方法を変えることも視野に入れることができました。

## 【音楽科】

### ○研修に向けて

- 日々の授業で、ねらいや導入、展開など、どのようにすれば生徒達が主体的に学ぶことができるのか、ねらいに沿った学習に繋がるのか、少しでも授業で使える方法を皆で見つけることができたらと思います。

### ○研修の振り返り

- 目標の具体的な設定や意図に合った発問の仕方など、同期の仲間が同じような悩みを抱えていることが分かり、解決策を模索しながら話し合うことができ大変ありがたかったです。答えを得ることもありがたいですが、同じ立場で一緒に考えることができる存在のありがたみを感じました。具体的な声掛けの例や、学習指導要領のどこを読めばいいのか等、具体的なことを知ることができたので明日からの授業で早速生かしていきたいです。

## 【美術科】

### ○研修に向けて

- 授業の進め方や内容の充実を学びたいです。具体的にどう進めていくかとても難しさを感じます。

### ○研修の振り返り

- 示範授業の中で、講師の方の発問がとても勉強になりました。特にイメージと造形の要素を結びつける発問や動きからイメージを結びつける発問がとても印象的でした。イメージの様に、抽象的なものを子ども達に意識させることがとても難しく、課題であると感じています。今後の研修で子ども達の中から、気づきを引き出す発問の作り方をもっと学びたいと思いました。

## 【保健体育科】

### ○研修に向けて

- ・授業が始まり、約2ヶ月が過ぎましたが、生徒との関係づくりや授業づくりにはまだまだ不安があります。周りの初任者の方がどのように授業を進めているのか気になっていたため、よく聞き、自分の授業にも取り入れていきたいです。

### ○研修の振り返り

- ・今思っていることや課題などについて議論しました。私の班では、授業計画、ICTの活用、評価、授業展開についての意見が出ました。それぞれの経験や知識からどのようにすれば改善できるか話し合い、共有することができました。まずは生徒の実態を知り、めあてを具体的に持つことが大切であると再確認できました。また、知識・技能の評価は分かりやすいですが、「思考力、判断力、表現力等」や「主体的に学習に取り組む態度」の評価は見えにくいことが分かりました。だからこそ自分から意識して見取ろうとしなければ見えない部分があり、評価できるような場を設定することが大切であると分かりました。これらのことを意識して授業づくりに励みたいです。

## 【技術分野】

### ○研修に向けて

- ・初任者の皆さんが授業づくりに対してどのような悩みがあってどのようなことを課題と感じているのか知りたいです。また、課題解決に向けて行なっていることを知りたいです。

### ○研修の振り返り

- ・自分が困っていることをグループのメンバーで共有することができ、解決策も共に考えたので多くのヒントを得ることができました。そうしたヒントを参考に今後の授業で生かしていきたいです。技術の授業に関することは校内でなかなか相談できないので、大変有意義でした。また、技術と生活や社会、環境との関わりを意識してこれから指導しなければならぬと感じました。学ぶ意欲が高まりました。

## 【家庭分野】

### ○研修に向けて

- ・前回のオンライン研修で自分の現状や課題を把握したので、これからの授業にどのように生かすことができるのか考えたいです。

### ○研修の振り返り

- ・授業づくりについて50分の構成や流れを掴むことができたように思います。めざす子どもの姿を今までも考えて授業を行なっていましたが、子どものつまずきを考えて授業を行うことで、苦手意識がある子どもが授業に主体的に参加できるようになると思い、授業構想を考えることが楽しくなりました。



## 【外国語】

### ○研修に向けて

- ・つまずきを感じている生徒への手立てについて学びたいです。

### ○研修の振り返り

- ・実際に、日々悩んでいる子どもたちへのつまずき解消に対する手立てを話し合うことはとても有意義な時間でした。子ども達の具体的に困っているレベルを見極めることが大切だということに納得しました。また、充実した活動にするためにも、活動を通して身に付けることができる力や、その力を発揮することでどのようなメリットや楽しさがあるのか伝えることが重要であると思いました。

## 【道徳科授業づくり】

### ○研修に向けて

- ・中心発問の考え方や、それをいかに生徒自身の考えを引き出す発問にできるのかについて悩んでいます。

### ○研修の振り返り

- ・道徳の授業づくりにおいて、まず学ぶ子どもの姿をしっかりと考えることが大切だと分かりました。子どもの姿が内容項目に合った姿になっているかを考えて、そこから中心発問を考える手法を学びました。実際に一部分だけ授業の流れを考えて、模擬授業をしてみると、めざす子どもの姿と中心発問や補助発問が少しずれたものになっていると、授業の進む方向が不明確になってしまっていると感じました。生徒が自分事として考えられるように生徒の実態と教材の特質をおさえた発問をし、生徒の一人一人の感じ方、考え方を育むように授業をつくることが大切だと分かりました。

### 【演習の様子(社会科)】

**2 課題整理シートを基に交流**

**Q1 社会科を学ぶことのよさとは  
(なぜ社会科を学ぶのでしょうか)**

**Q2 社会科の授業を通して、子ども達に身に付けさせたい力**

**Q3 自分が考える理想的な社会科の授業**

**Q4 そのためにできるようになりたいこと(課題)**



### 【演習の様子(音楽科)】

**導入場面を考える(個人)**

生徒が楽曲に対し関心をもち、主体的に歌唱に向き合うことができるような導入を工夫しよう。(導入5分)

学習活動	予想される子どもの反応 △つまずき	指導の手立て、声かけ 発問など
○節唄を聴いて印象などを自由に話し合う。	①本時の目標を踏まえ、導入での学びの姿、生徒の反応を考える。	②本時の目標を踏まえ、歌詞の内容や曲想に関心を持たせるための手立てでやさしげ(声かけ)を考える。
○歌詞を背誦したり、歌ったりする。	知覚に関する反応 △つまずき 感受に関する反応	生徒の多様な意見を引き出す声かけ 楽曲に対する印象を多様に引き出す手立て
めあて:	③本時のねらいを踏まえ、本時の目標に基づくめあてを考える。	

